

病院だより

Vol. 384

SHOWA Medical University Fujigaoka Hospital

リンパ浮腫外来の紹介

産婦人科 准教授 佐々木 康

—就任のご挨拶—

藤が丘病院 病院歯科	桑澤 実希
リハビリテーション室	迫 力太郎
リハビリテーション科	小西 正浩

—一定年のご挨拶—

泌尿器科 前 診療科長	佐々木 春明
内科(糖尿病・代謝・内分泌) 前 診療責任者	長坂 昌一郎

Events

がん患者・家族サロン開催のお知らせ

News

消防訓練を実施しました

Report

患者さんからのご意見・ご要望

April

4

月号



SHOWA Medical University Fujigaoka Rehabilitation Hospital



昭和医科大学



リンパ浮腫って知っていますか？

私たちは地球の重力に引っ張られて生活しています。重力があるため地上に立っていただける訳ですが、そのために両足に水分が溜まりやすくなり、いわゆる『むくみ』を引き起こします。特に異常がなければ、足にかかる負担を解除すれば元に戻るでしょう。一方、病気によるむくみの原因はさまざまです。心臓や腎臓、あるいは肝臓が悪い場合、甲状腺機能が低下した場合、などがあげられます。さてリンパ浮腫とは、リンパ液の流れが悪くなることで手や足などが慢性的に腫れてしまう病気です。体内にはリンパ管という排水管の役割をしている『通り道』があり、余分な水分や老廃物などを回収し運んでいます。この流れが何らかの原因で障害されるとリンパ浮腫となります。

（続発性）リンパ浮腫ってどんな病気？

私たち産婦人科で取り扱っているむくみは続発性リンパ浮腫と言います。がんの手術によりリンパ節を摘出することでリンパ液の流れを悪くさせ、足や下腹部がむくんでしまう、治療の必要なむくみです。いつ発症するか、どの程度悪化するのかなどは個人差があり、予測は不可能です。進行すると感染症を起こしやすくなったり、皮膚が厚く硬くなったり、バランスを崩しやすく日常生活に支障を来します。実は認知度の低い病気であり、がん患者の中にも多くのリンパ浮腫患者がいると考えられていますが、正確な患者数はわかっていません。また、がんの専門医でもその対応法を知らない医師は多いと思われます。

治療ってあるの？

残念ながら完全に治す方法は確立されていません。ただしスキンケア、用手的リンパドレナージ、圧迫療法、圧迫療法下の運動療法、日常生活指導（体重管理）を組み合わせた複合的治療という方法が1970年代にドイツで確立され2000年頃に日本にも伝わってきています。これにより症状の軽減を図ることが可能な場合があります。早期発見が重要で、日頃から皮膚の状態変化に気をつけることが必要です。

最後に

産婦人科で手術を受けられたがん患者のリンパ浮腫に対応するため2018年よりリンパ浮腫外来をはじめました。現在リンパ浮腫治療の専門資格（リンパ浮腫療法士）を取得した医師1名、看護師2名が担当しています。

原則として当科かかりつけの患者さん専用外来ですが、どこに受診したら良いかわからず下肢浮腫で悩まれている患者さんもしらっしゃると思いますので、診察の上、リンパ浮腫を診療している施設にご紹介いたします。

何科からでも良いのでかかりつけの先生から紹介状を書いてもらい、当科を受診してください（担当：佐々木）。お待ちしております。



弾性包帯装着中の一コマ

昭和医科大学藤が丘病院 がん患者・家族サロン

令和8年5月9日(土) 10:00~11:00

第1部

「がん治療とお金のこと

～ファイナンシャルプランナーから学ぶ経済的な備え～

講師：神奈川県指定ファイナンシャルプランナー

第2部

交流会



- 会場： B棟6階AB会議室
- 対象者： がん患者さん、ご家族
- 定員： 10名
- 参加費： 無料

※オンライン配信等はありません

※感染対策上、入院患者さんにはご遠慮いただいております

申込締切

5/7

事前申込制



電車でお越しの方
・東急田園都市線 「藤が丘」駅下車 徒歩5分

車でお越しの方
・東名高速 横浜青葉ICより5分
・国道246号線 藤が丘より2分

<申込方法>

電話あるいは
右のQRコードより



連絡先

045-971-1151(代表)
昭和医科大学藤が丘病院
管理課
がん患者・家族サロン担当

<お問合せ>

昭和医科大学藤が丘病院 管理課

045-971-1151

管理課 がん患者・家族サロン担当

月～金曜日 8:30～17:00
(祝日除く)

2026年2月より病院歯科 診療科長を拝命いたしました。昭和医科大学歯学部卒業後、昭和医科大学歯科病院（大田区）にて義歯（入れ歯）診療を中心に、施設・居宅への訪問歯科診療、さらに藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院への往診に従事してまいりました。私自身、北里大学病院生まれの町田市民であり、青葉区は大変親近感のある地域です。この地で勤務できますことに深いご縁を感じております。

現在、当科は歯科医師2名体制で診療を行っており、1名は歯科口腔外科を専門として外科処置を担当しております。私は義歯を専門とし、それぞれの強みを活かしながら相互に連携し、質の高い医療の提供に努めております。

病院歯科は、入院中の患者さんが安全に療養生活を終わられるよう支えることを使命としております。口腔ケアや感染源の精査・除去、義歯調整による食生活の改善、退院後を見据えた支援と啓発など、その役割は多岐にわたります。昭和医科大学歯科の「至誠一貫」の理念のもと、患者さん、ご家族、病院スタッフの皆さまと力を合わせ、多職種協働により病院全体の医療に貢献してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



くわさわ みき
桑澤 実希

2026年4月1日付で、藤が丘病院リハビリテーション室技師長を拝命いたしました迫力太郎（さこりきたろう）と申します。私は2002年に昭和大学に入職後、藤が丘リハビリテーション病院、横浜市北部病院、東病院での勤務を経て、本年度より当室の責任者を務めることとなりました。昨年度まで技師長を兼任されていた小笹統括リハビリテーション技術部長の想いを引き継ぎ、その職責の重さを身に引き締めて感じております。

本年度、当室は5名の新入職員を迎え、理学療法士20名、作業療法士8名、言語聴覚士3名の総勢31名体制で始動いたしました。統括リハビリテーション技術部全体では36名の新人が加わっております。当室の使命として、新人教育はもちろんのこと、保健医療学部と緊密に連携した臨床実習教育にも一層注力してまいります。質の高い臨床・教育を追求し、多職種と連携したチーム医療をマネジメントすることで、地域住民の皆様や医療機関から「藤が丘に任せれば安心だ」と信頼いただけるリハビリテーション医療を提供してまいります。また、「スタッフ全員が患者・家族の想いに沿った医療を提供できるリハビリテーション室」にしていきたいと思っております。

微力ながら、地域医療の発展と組織の成長に全力を尽くしてまいりますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



さこ りきたろう
迫 力太郎

令和8年4月より、藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーションセンター技師長を拝命いたしました。当院はこれまで地域に根ざした質の高いリハビリテーションを実践し、多くの患者様の回復と生活再建を支えてまいりました。その伝統ある組織を担う重責に、身の引き締まる思いです。

私は昭和医科大学入職後、大学病院1年、当院13年半、江東豊洲病院5年半を経て、再び当院に戻り5年が経ちました。臨床・教育・運営で培った経験に加え、志を同じくする仲間との出会いはかけがえのない財産です。また、歴代技師長の先生方が築いてこられた理念と実践に深い感銘を受け、その姿勢と志は今日の私を形づくる礎となっています。

昨年掲げたビジョン「社会から求められるリハビリテーションを実現するため、組織と個が共に輝き、感動を生み出す」を指針に、理学療法士43名、作業療法士28名、言語聴覚士11名、計82名を擁する統括リハビリテーション技術部最大組織の責任を果たしてまいります。

超高齢社会の進展や医療ニーズの高度化という時代の要請に応えるため、専門性の深化と多職種連携の強化、人材育成の充実に取り組み、地域と社会に真に求められるリハビリテーションを実現してまいります。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

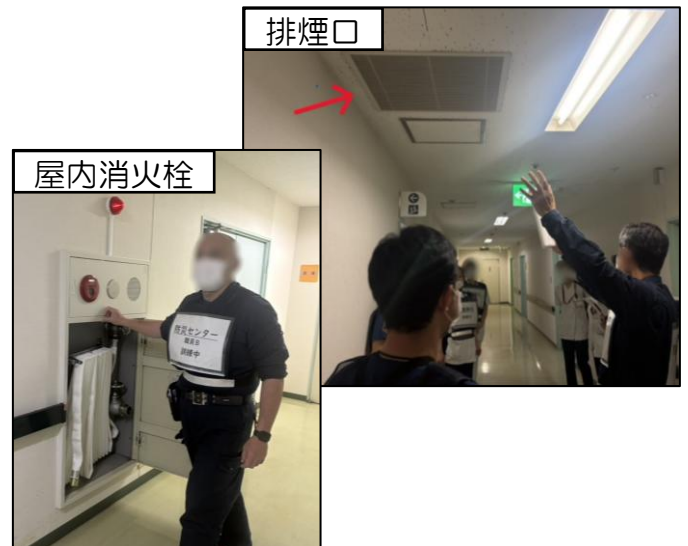


こにし まさひろ
小西 正浩

News

消防訓練を実施いたしました

2月27日（金）、昭和医科大学藤が丘病院 9階病棟にて夜間想定の消火・避難訓練を実施しました。消火・避難訓練は、消防法により年2回以上実施することが義務付けられています。今回の訓練では、各職員が必要な役割を理解し、速やかに自衛消防活動を行い避難できるようになることを目的に実施し、消火器や屋内消火栓、防火扉、排煙口などの院内設備や避難経路等を改めて実践的に確認することができました。今後も継続して実施し、患者さん及び職員の安心・安全の確保に努めてまいります。

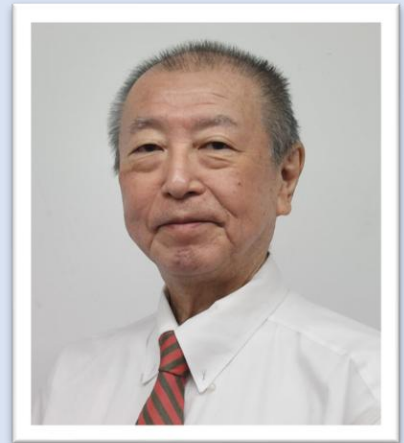


皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

私は1986年に昭和大学医学部を卒業して、藤が丘病院泌尿器科に就職しました。当時は昭和大学には附属病院は昭和大学病院と藤が丘病院の2つでした。ポリクリの際にお世話になった藤が丘病院にお世話になることを決めました。当時は日勤・当直・日勤・・・という勤務が日常茶飯事でした。また、それが楽しくて仕方ありませんでした。今考えると、先輩医師、同僚医師や看護師さんのスタッフの皆様を支えられての事だと思います。今では、勤務制度が見直され、時間制限があります。一方、裁量労働制の検討もされています。泌尿器科は外科系診療科ですので、時間外に緊急手術が必要になる事がありますが、労働時間の制限があるため、貴重な症例を経験できない事態が起きています。私にはとても違和感があります。まれな疾患の実臨床経験を逃すこととなります。また、医学部の学生の意識も変化し、17時には終了することが前提となっている様に感じられます。これで本当に良いのでしょうか？とても心配しています。また、学会発表や論文の執筆についても同様に感じます。私の勘違いなら良いのですが、時間外に若手医師に学会の発表や論文を指導する事に躊躇する様になりました。私の若い頃と比較すると、若手医師も中堅医師も日常の診療業務が格段に多くなり、余裕が無いように感じます。学会発表や学会参加、論文の執筆などに時間を割ける体制が必要と感じます。

昭和医科大学がこれから発展するためには、若手医師をどのように育成するかがとても大切だと思います。各診療科では、診療責任者はいずれ退任を迎えます。若手医師が楽しく、充実した業務をこなす事ができる体制の構築を期待しています。これは医師のみならず、看護部・事務職員などすべての職種に共通していると考えます。

小言になってしまいましたが、これまで私を支えてくださった皆様に心より感謝しています。これから病院も整備され、職場環境は良くなると思いますが、1人ひとりの意識も改善する事を祈念しています。そして、昭和医科大学が日本一になる事を夢見ています。ありがとうございました。



藤が丘病院 泌尿器科
前 診療科長

ささき はるあき
佐々木 春明

私が藤が丘病院に赴任したのは2015年7月で、2026年3月で退職となりました。あっという間の10年間でしたが、特に2020年の新型コロナウイルス感染症の流行後には、さまざまな苦勞があったことが懐かしく思い出されます。

診療では、多くの糖尿病、甲状腺疾患を中心とする内分泌疾患の患者さんを診てきました。患者さんの病状が良くなって、「先生のおかげですっかり元気になりました」などとお声がけいただくと、医師の仕事をやった良かったと思えました。糖尿病や内分泌疾患は、多くは慢性の経過をとる疾患ですが、治療を中断しないことが最も大切です。当院での診療だけではなく、「かかりつけ医」も持っていただき、治療を継続してください。

研究では、多くの患者さんにご協力いただき、「臨床研究」や「症例報告」を行ないました。研究や症例報告は、医師としての見識を高めるために、とても大切な勉強の一つです。数名の医局員が研究成果を発表して、医学博士号を取得できましたし、若手の医局員は「症例報告」で学会発表を行い、自らを向上させてきました。若い先生たちとこのような仕事をしてきたことは、私にとって大きな喜びでした。

教育では、若手の医局員、研修医、医学部の学生さんの指導を行ないましたが、その際にも多くの患者さんにご協力いただき、ありがとうございました。このようなご協力の上で、次の世代の医師が育っていくことになります。

定年後は横浜を離れますが、いくつかの病院やクリニックで、専門的な診療を続けていく予定です。そちらでも、少しでも患者さんのお役に立てればと考えています。またしばらくは、当院の内科（糖尿病・代謝・内分泌）にも籍をおいて、医局員の研究や診療のサポートができればと考えています。

多くの医局員、病院関係者の皆さまのサポートで、職務を全うできたと思っています。改めて、10年間、ありがとうございました。



藤が丘病院
内科（糖尿病・代謝・内分泌）
前 診療責任者

ながさか しゅういちろう

長坂 昌一郎

患者さんからのご意見・ご要望

日々患者さんからいただきましたご意見・ご要望は、病院内全体で共有しております。掲載されていないご意見・ご要望につきましても別途対応しております。今後もお気づきの点がございましたら、お聞かせくださいますよう、お願い申し上げます。



ご意見・ご要望	回答・改善内容等
<p>診察券と診療費領収書、診療明細書と予約票のIDの記載が違いますがなぜですか。 例えば下記の場合</p> <ul style="list-style-type: none">(例) 旧診察券 ID0001234567・新診察券 ID00-0123456-7・診療費領収書と診療明細書 ID000123456-7・予約票ID0001234567 <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>お問い合わせの件につきまして、当院では電子カルテを含む複数の院内システムが連携して、患者情報を管理しております。このため、患者IDは共通番号を使用しておりますが、各システムにおける表示形式・印字方式は、それぞれの仕様に基づいて異なる場合がございますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: right;">【藤が丘病院：医事外来課】</p>
<p>右肩、左肩の治療で合わせて2年以上にわたり、A医師から治療、リハビリ指導を受けて参りました。高い技術、親身になったご指導で安心して治療を受けることができました。 本日、治療終了となりました。今まで本当にありがとうございました。</p>	<p>このたびは身に余るほどの温かいお言葉を頂戴し、深く感謝申し上げます。 今後とも皆様が安心してリハビリテーションを受けていただけるよう日々の研鑽を怠らず、真摯に取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">【スポーツ運動科学研究所】</p>

編集後記

4月を迎えて

やわらかな春の風を頬に感じ、心なごむ季節となりました。当院でも新しい職員を迎え、初々しくも前向きで力強いエネルギーが院内に満ちています。
さて、新しい季節の始まりとともに日々の暮らしにもさまざまな変化が訪れますが、この4月には自転車の運転に関連した道路交通法が改正されました。携帯電話を見ながらの運転はもちろんのこと、傘をさしながらの運転や無灯火で運転することが違反となり反則金が課されます。自転車は便利ですが、運転のしかたによっては重大な事故につながります。ルールを守って安全運転を心がけましょう。
新年度も病院だよりを通じて当院の様子をお伝えしていきます。どうぞよろしくお願いたします。



広報・公開講座委員会：酒井 広隆（藤が丘病院 内科（血液））

藤が丘病院
藤が丘リハビリテーション病院

4月号

April 2026

発行責任者：昭和医科大学藤が丘病院 病院長 鈴木 洋

編集責任者：広報・公開講座委員会 委員長 森岡 幹

編 集：広報・公開講座委員会



病院だより

「病院だより」通巻第384号
令和8年4月1日発行
【毎月発行】



昭和医科大学